

第17期ダイバーショナルセラピーワーカー(DTW)養成講座 スケジュールと認定までのプロセス(オンライン版)

■受講時間

授業の総時間数は31時間となります。

募集人数 30名 ※日本ダイバーショナルセラピー協会のホームページからお申込みください。

■受講料

日本ダイバーショナルセラピー協会正会員=55,000円(個人正会員または法人正会員の職員)

※受講申し込みと同時に入会が可能。受講料55,000円と正会員年会費6,000円を納付いただきます。正会員の申し込みをされない方は70,000円となります。

■修了証

ダイバーショナルセラピーワーカー養成講座の全講義(今期に限り31時間)を受講された方には「修了証」を授与します。やむを得ず、当日の講義を欠席した方には、後日、日程限定で講義の再配信を行います。

■認定試験と認定証

「修了証」を取得された方で認定を希望される方に対し、認定試験(オンライン面接と小論文審査)を実施します。受験料は無料。合格者は「ダイバーショナルセラピーワーカー(DTW)」として日豪のDT協会が共同認定し、「認定証」を授与。認定カードを発行します。(認定手続き料5,000円)

■ダイバーショナルセラピーワーカー資格について

DTW認定者には個人正会員として年会費を収めていただきます。

■今期はコロナ感染防止に配慮してオンラインで実施するため、演習・実習を含む正規のカリキュラム(48時間)には満たないものとなっております(通常の会員受講料8万円)。そのためコロナ終息後に対面で演習等の機会を設けますので、ぜひ受講していただきますようお願い致します(有料・詳細後日)。

DTは、自立支援から終末期まで“楽しく自分らしく”の専門性

ダイバーショナルセラピー(DT)は、オーストラリアやニュージーランドで50数年の実績をもつ“レジャー(楽しく)&ライフスタイル(自分らしく)”を援助促進する専門職で、オーストラリアDT協会(DRTA)は、医師会、看護協会、PT協会、OT協会、アルツハイマー協会等とともにNational Aged Care Alliance(全国高齢者ケア連盟)に加盟しています。日本ダイバーショナルセラピー協会は、日本の生活文化に根差したダイバーショナルセラピーの実践者の養成を目指して2008年に第1期ダイバーショナルセラピーワーカー養成講座を開講しました。2021年3月現在で422人のDTワーカーを認定。高齢者介護施設、認知症治療病棟、リハビリテーション分野、地域・在宅ケア、教育機関など多様な分野で活躍しています。オーストラリアではDTの対象は各世代に広がっており、高齢者介護施設だけでなく精神科、緩和ケア、リハビリテーション、チャイルドケア、地域ケア等においても重要な役割を担うようになっています。日本でも自立支援から終末期に至るまで、一人一人にとって“意味のある楽しさ”と“その人らしさ”にフォーカスしたケアが求められ、その専門的チームケアの一員としてのダイバーショナルセラピーに期待が高まっています。日本ダイバーショナルセラピー協会(DTAJ)は、オーストラリアDT協会(DRTA)やニュージーランドDT協会(NZSDRT)、アメリカの全国アクティビティ専門家協会(NAAP)等、国際的なパートナーシップのもと、これからも日本におけるダイバーショナルセラピーの普及と実践者養成に取り組んでまいります。

NPO法人 日本ダイバーショナルセラピー協会

理事長 芹澤隆子

〒530-0037 大阪市北区松ケ枝町6-17-702

電話：06-6358-0772 FAX：06-6358-0339